

平成30年度 算数科授業の略案 (6学年)

月日 (校時)	単元名	教材名
9月6日(木) 5校時	比と比の値	割合の表し方を考えよう
本時のねらい (5/9) ○比の性質や比の値を用いて、比を簡単にすることができる。		
評価規準 <b>技</b> 比の性質を用いて、比を簡単にすることができる。(ノート・発表)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	キーワード 留意事項・ <b>評価</b>
<b>【導入】</b> <b>13:55</b>	○まとめ、ふり返りをペアで伝え合いましょう。	・前時の学習のふり返りをする。
<b>【展開】</b> 問題提示 <b>13:58</b>  課題把握 ・問いの共有 <b>14:02</b> ・シラバス ・問いの共有  <b>14:05</b> 自力解決 集団解決 ・班学習   ・全体学習 <b>14:20</b>  ・考察 <b>14:33</b>  まとめ <b>14:36</b>  ふりかえり <b>14:40</b>	1 問題を読む。 カルピスと水の比が8:20と6:15になるように作りました。 甘さは同じでしょうか。 ・8と6の公倍数で等しい比になおしたら比べられる。 ・比の値を求めると調べられる ・数字を小さくして調べてみる。  2 課題を把握する。 等しい比かどうかを調べる方法を式や言葉を使って説明しよう。 (一人学び(8分)・班学び(6分)・学び合い(10分)・まとめ(3分)・振り返り(3分))  3 既習事項を参考にして、どのようにして調べたらいいか考える。 ア 8と6の公倍数を見つけて、考える。 $\begin{array}{c} \swarrow \times 3 \searrow \\ 8:20 = 24:60 \\ \swarrow \times 3 \searrow \end{array}$ $\begin{array}{c} \swarrow \times 4 \searrow \\ 6:15 = 24:60 \\ \swarrow \times 4 \searrow \end{array}$ イ 比の値を求める。 $8:20 \Rightarrow \frac{8}{20} = \frac{2}{5}$ $6:15 \Rightarrow \frac{6}{15} = \frac{2}{5}$ ウ いちばん小さい整数の比に直す。 $\begin{array}{c} \swarrow \div 4 \searrow \\ 8:20 = 2:5 \\ \swarrow \div 4 \searrow \end{array}$ $\begin{array}{c} \swarrow \div 3 \searrow \\ 6:15 = 2:5 \\ \swarrow \div 3 \searrow \end{array}$ ・班で出し合った考えをW・Bに書き、黒板に掲示する。  4 考えの似ている点や気づいたことを伝え合う。 ・イとウの考えは、数を小さくしている点が似ている。 ・比の値で考えると、はやくとける。 ・イとウの小さい整数になおすと比べやすい。  ・比を簡単にするイやウの考え方がいくつもの比を比べるときに便利である。 ・比を小さい数にした方がわかりやすい。 ・たくさんの比が出てきたら、公倍数の考え方は時間がかかる。 ・等しい比かどうか調べるには比をできるだけ小さい数にして考えるといい。(教師)  等しい比かどうかを調べるには、できるだけ小さい整数になおして、調べるとよい。 比を、それと等しい比で、できるだけ小さい整数の比になおすことを、「比を簡単にする」という。  5 学習したことを振り返る。 6 適用問題に取り組む。	割合 比 比の値 比は等しい 約分 公約数 通分 比を簡単にする  ・この学習時間にやることがわかったかどうかハンドサインチェックで確認する。  ・困っている児童には前時のノートを振り返らせる。  <b>技</b> 比の性質を用いて、比を簡単にすることができる。(ノート・発表)  ・全体学習では2つの比の関係を表した式、比の値などを基に他の班の考えを読み取ったり、それぞれの考えの共通点を考えさせる。  ・比を簡単にすると割合がとらえやすくなることを実感させる。

